

川崎重工業株式会社に対する 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、川崎重工業株式会社（代表取締役社長：橋本 康彦、以下「川崎重工業」）との間で、シンジケーション方式による「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）のアレンジャーに就任し、コミットメントライン契約を本日締結しました。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（ISO30414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

川崎重工業は、「グループビジョン 2030」において、人的資本の充実が成長シナリオを支える重要な要素という認識のもと、人的資本に関する基本方針「川崎重工業グループ人材マネジメント方針」に則り、多様な人財の確保・育成、その個性と能力を発揮するための環境整備、前向きに挑戦し続ける人と組織の実現に向けて、各種施策を展開しています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、川崎重工業が以下の領域における取組を開示していることを高く評価しています。

- ・ 育成領域：

技術者の技能を計画的に後進に伝えていく必要性を自社特有の課題として捉え、これまでに技能交流会を開催したことに加え、技能教育センター「匠塾」等の開設も行い、技能伝承に注力していること

- ・ ガバナンス領域：

社長やカンパニープレジデント等が参加する全社人財マネジメント委員会において、全社的な人財の育成・活用の方針の協議・検討が行われること

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

<案件の概要>

融 資 先：川崎重工業

アレンジャー行：みずほ銀行

貸 付 人：みずほ銀行をはじめとする国内金融機関

契 約 締 結 日：2023 年 12 月 8 日

(※1) Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス

2023 年 5 月 30 日付プレスリリース「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始について

URL： https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

以 上